

令和 7 年第 423 回信濃町議会定例会 2 月会議会議録（3 日目）

（令和 7 年 2 月 19 日 午前 10 時 50 分）

●議長（佐藤武雄） 休憩前に引き続き会議を開きます。

通告の 2、片野良之議員。

- 1、福祉灯油の実施の考えについて
- 2、子どもの医療費完全無償化について
- 3、交通弱者への救済取組の加速を求めることについて

議席番号 4 番、片野良之議員。

◆4 番（片野良之） 議席番号 4 番、片野良之です。明確な答弁をお願いいたします。通告になぞりまして、いわゆる福祉灯油の実施の考えについて質問させていただきます。まず、政府からの価格抑制の措置がなくなり、燃料価格は高止まりのままです。ただでさえ全国的にも最高値の信州の中でも高い信濃町。従来、町単独でも福祉灯油を行う 110 円というレベルを大きく超えている中、これまで国の補助以外に行おうとはしていません。以前の質問のときにも何回もやっているんですが、住民の命を守るべき自治体の本質から考えて早急に対策を行うべきと思いますが、町としての考えを改めて伺います。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） ただいま頂きました片野議員からの質問にお答えいたします。国と県では、燃料費を含めた物価の高騰により影響を受けた低所得世帯を対象に給付金 2 万円から 3 万円、加えて同世帯で子どもがいる世帯には 2 万円の加算措置が取られております。また、生活困窮者に対してはガソリン券の配布などの対策が講じられているところでございます。その他にも、L P ガスの消費者や社会福祉事業所などへの支援もでございます。町といたしましては、こうした国、県の物価高対策の活用、そしてまた周知を図ることによりまして物価高騰の影響を受ける生活者や事業者への支援につなげてまいりたいと考えております。詳細については担当課長から答弁させていただきます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤住民福祉課長。

■住民福祉課長（佐藤宏幸） 福祉灯油に関しましては、これまでも社会情勢を見る中で、町単独で灯油の補助をやってきた経過がございます。その際には、国県補助がまずあるか否かという部分の中でやってきたわけですが、今回の検討に当たりましては、1 月に長野県の方で大規模な補正予算の組み立てを行いました。その中で今町長の方から、ガソリンの関係、あと L P ガスの関係がございましたけれども、長野県においては、ガソリン券にあっては対象者、年収 200 万円未満または住民税非課税世帯のうちガソリン

令和7年第423回信濃町議会定例会2月会議会議録（3日目）

支援を希望する世帯に一世帯あたり5000円、LPガスにあつては消費者1人当たり1000円の値引きを行う、といったような施策が講じられるというようなことをお聞きしております。そういった中でですね、こういった補助内容の、周知を図ることで支援に代えさせていただければというふうに思っております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆4番（片野良之） 今答弁いただきましたが、消極的だと言わざるを得ないと思います。実際、2万から3万、またプラス2万という補助は出ていますが、これまでも食費などの値上がりが続いています。そして、更にこの春も値上がりが続いています。この中で2万から3万の補助があってもそれがどれだけ食費の方で消えるのでしょうか。どことはあえて言いませんが、県内で灯油が買えず布団にくるまって暖を取りながら低体温症になって救助されたという話もこの冬出ています。命が失われてからでは意味がありません。改めて早急な対応を求めます。今回の補正予算、この福祉というのを実施が組み込まれていたらいいなと期待しながらこの議会に臨みましたが、残念ながら入っておりませんでした。今朝のニュースでしたけれども、長野県内でもスーパーでのお米5キロの値段平均が3900円という報道が出てきました。以前は10キロ買える値段ですよ。そういったところで本当に生活困窮されている非課税世帯の方々、そういった方々に対する支援、これはやはり一番身近にいる町村の自治体がやらなくてはならないと思います。改めてもう一度この物価高の中で苦しんでいる人たちに対する福祉の心はどうなっているのかを改めてもう一度伺いさせていただきたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤住民福祉課長。

■住民福祉課長（佐藤宏幸） 今回の物価高騰により、燃料だけではなくてふだんの生活における食料費等高騰していることによって困窮しているというような状況については承知しております。ただ町といたしましては、まずは国県の補助施策を見の中で、そこで不足する部分については補完をしていけるように、組み立てをできればといった部分の中で、今回は国、県の方で補助施策を出たことを受けまして、活用するような方針の中で、考えさせていただきました、以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆4番（片野良之） 国県、国や県の対応をまず見てからということも分かるんですが、本当に苦しんでいらっしゃる方々、一番寄り沿うこの町がせめて物価高が落ち着くまで支える、そういったことが必要だと思うんですが、これはある意味、町長の決断でできることだと思うんです。大きな金額を送ってくださいと言っているのではなく、わずかな灯油でも支えになるような安心して生活できるような状況に持って行ってほしいという願いで、改めて町長にお伺いいたします。あと、この冬は1月ちょっとあと2か月

令和 7 年第 423 回信濃町議会定例会 2 月会議会議録（3 日目）

もあれば暖かくなってきますので、せめてこの冬終わるまででも何かしらの町独自での対応が取れないか検討いただけないでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） 町としてのですね、独自施策といいますか、それを検討すべきではないかというご提案かと思います。町としてはですね、先ほど住民福祉課長の方からも答弁させていただきましたけれども、国県の事業制度、補助制度をまずは確認させていただいた上で町としての対応を考えていきたいという考えには違いがありません。ただ、お金だけではなく、例えば生活困窮者に対する人的なケアであったりとか見守りであったりとか、いうようなことはできるかと思いますので、社会福祉協議会とチームワークを整えて対応できればいいかなというふうに考えております。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆4 番（片野良之） のれんに腕押しといいますか、何かちょっと残念な回答です。町独自でやったとしてですね、どのくらい予算的なものが必要になるかは計算はされているでしょうか。これは課長の方ですかね。

●議長（佐藤武雄） 佐藤住民福祉課長。

■住民福祉課長（佐藤宏幸） 今回の国県の事業を受けまして町としての試算の方はしてございませんけれども、過去のですね、福祉灯油の実績を見る中でおおむね 500 万円前後の予算が措置されているといったことでございます。以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆4 番（片野良之） 決して小さくない金額ですが、是非検討をお願いしまして次の質問に移ります。子ども医療費窓口完全無料化についてなんですが、通告書を出した後、新年度予算の中に入っておりまして、これまで何度も何度も言ってきたがたくなに、受益者負担ということでレセプト代を負担していただくという回答が何年も続いておりました。でもここに来て、18 歳以下への窓口無料化の予算計上を見て本当に嬉しくもあり、びっくりしました。これまでと方針を変換されたのは何かあったのでしょうか。それだけひとつお聞かせいただきたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） 特に何かあったということではありませんけれども、諸般の事情、近隣市町村の状況等を勘案して今回の方針を決めさせていただいたということであり

ます。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆4 番（片野良之） ありがとうございます。この 500 円、たかが 500 円されど 500 円。これがないだけでも随分子どもたちを育てる親御さんたちは安心して病院に連れて行けるかと思います。携わった職員や決断された職責のある方、町長への感謝を申し上げて、次の質問に移ります。交通弱者への救済取組といたしますか、支援の加速を求めることについて伺います。昨年から町内でのデマンドが試験的に改良されて利便性は随分改良されたのではないかと思います。実際に利用者の方々からも、使いやすくなった、前よりも便利になったという声も聞かれています。ただ、一部の利用者の方からは不満の声も聞かれます。さらなる改良改善への取り組みはこれからもこれまでもやってこれたと思うんですが、今後どのように進めていく予定なのかを伺いたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） デマンド運行につきましては限られた諸条件の中、より効率的な運行を目指し A I を活用いたしました配車を昨年 4 月から開始いたしました。これにより、利用者が予約できる時間を従前の行き帰り 4 便であったものを 30 分ごとというようにきめ細かく設定することができるようになりました。また、24 時間いつでも配車予約ができるアプリを導入するなど、利便性の向上に取り組んでいるところでございます。多くの方々にご利用いただき、1 月末までの利用者は前年対比 20 パーセント増の 1600 人増というような状況でございます。また、4 月からの乗降データや住民からのご意見等を踏まえまして、システムの設定の見直しや乗降場所の追加など、順次取り組みを行っておりますけれども、より多くの方々にご利用いただけるよう、今後とも引き続き運行の見直しを継続してまいりたいと考えております。詳細については担当課長から答弁させていただきます。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） さらなる改良ということでございますけれども、今ほど町長の方からも申されたとおりでございます、A I 配車を行っているとのこと。その中で細かくは例えば乗降の時間であるとか待ち時間であるとか、そういう積み重ねを機械に入れて最適なのか配車時間を計算しているところですが、これにつきましてもいろいろトライアンドエラーと申しますか、やってみなければわからないところもございます。そういう中で、小さい改良の積み重ねをしまして、利便性の向上やロスタイムがないような形で運行できるように考えているところです。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

令和 7 年第 423 回信濃町議会定例会 2 月会議会議録（3 日目）

◆ 4 番（片野良之） 以前に比べて随分良くなったと私も感じてはいるんですが、利用者の中から町中の人向けのもので、郊外から利用する自分たちにとってはまだまだ不便だという声が寄せられています。具体的にその方に聞いてみたんですが、配車される待ち時間といいますか、夏の炎天下、そして冬の吹雪いているとき、表で 15 分 20 分待たされることがあると。何とかこれはできないのかという声が実際何件か寄せられました。これは町の方には入っているかどうかはわからないので、あえてここで披露させていただいたんですが、ドアトゥドアというわけにはいかないと思うんですけども、なるべく炎天下だったり吹雪いているとき、体調悪くて病院に行こうとしたときのお話らしいんですがその状況で表にしばらくいないと車が来ないと、こういうのは前もって、もうちょっと調整することもできるんじゃないかと思うのですが、今の答弁だとトライアンドエラーが繰り返しながら蓄積されて、こういう誤差が少しずつ縮まっていくのだけであるのですが、なるべく早めにそういったところを改良していただきたいんですが、いかがでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 天候の状況等も大きな変化というか要因かと思います。ただどの天気にも照準を合わせるかというのなかなか難しいところもありまして、先ほど申しました待ち時間であるとかですね、乗降時間を短縮したりとかするとこの天気の悪い日に逆の影響が出たりとかそういうこともございます。また、信濃町は町の面積も広いというようなこともありまして、どうしても中心地から遠いというか外側の方に車が動いてくる場合にどうしても外側の方が密度が薄くなってしまうということもございます。その辺も含めて改良できることは、改良できるように対応していきたいと思っています。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆ 4 番（片野良之） 実際私もデマンド運転手をやっていた時期がありますのでわかるんですが、そのときはわりとドアトゥドアに近い状態で対応していたんですね。ですから、そういう悪天候のときなどに、外で待たせるということはあまりなかったと思うんですが、今それがほとんどできなくなっているんじゃないかを感じるんです。そういった部分を改良していくことも検討していただきたいんですが、どうでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤産業観光課長。

■産業観光課長（佐藤巳希夫） 限られた予算であるとかですね、あるいは今車の運転手不足といいますか、そういうことも課題になっております。その辺も含めてできる改良を積み重ねていきたいというふうに思っています。

令和 7 年第 423 回信濃町議会定例会 2 月会議会議録（3 日目）

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆4 番（片野良之） それとですね、交通弱者の方々、買い物支援についても伺いたいですけれども、今後は今町内ではスーパーのお買い物バスですとか「とくし丸」とかありますけれども、そういったものを今後町でも援助といいますか、支えていくというような計画はありますでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤住民福祉課長。

■住民福祉課長（佐藤宏幸） 買い物支援につきましては、今、片野議員さんおっしゃいましたように、現時点では行政サービスの方では整備されておきませんので、民間でのサービスで対応いただいているところでございます。具体的に申し上げますと、第一スーパー様では週 4 日、町内 8 コースの送迎バスを運行してございます。また、移動販売を行う「とくし丸」様では、移動スーパーとして同様に週 4 日それぞれの地域ごとに自宅を訪問し、支援しているというふうにお聞きしております。ちなみに「とくし丸」の利用者は 160 世帯というふうにお聞きしております。今後、買い物支援だけではなく、町内においては 65 歳以上の高齢者世帯、こちらが全世帯の 4 割ほどなんですけれども、そういった中で高齢化に伴い免許返納や身体的理由などで移動に関しても支援を必要だということが十分想定されますので、住民主体型のボランティアの方の協力を得ながらいろいろ支援について今後検討を行っていききたいというふうに思っております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

◆4 番（片野良之） 今、民間のボランティアといいますか、そういったものも活用しながら、というふうに答弁であったと思うんですけれども、今具体的に町内でそういった代行運転ではないんですけれども、買い物のときなど車を出してくださるようなボランティアそういった方々は、登録とか組織化はされているでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 佐藤住民福祉課長。

■住民福祉課長（佐藤宏幸） 以前にですね、そういった福祉移動に関する相談がありまして、それに向けて検討をしていたんですけれども、昨年町の介護事業関係の中で事故等が発生した関係もあって、そういった大きな課題に対してどのように、解決すべきかというところがちょっと今一つのハードルとなっていますので、そういったことを除けるよう行政もですね、どの程度まで支援ができるかといった部分も含めて、さらなる検討を要しているということでございます。以上です。

●議長（佐藤武雄） 片野議員。

令和 7 年第 423 回信濃町議会定例会 2 月会議会議録（3 日目）

◆4 番（片野良之） 是非ともですね、保険の部分だとかいろいろややこしい問題あると思うんですが、是非そういう志のある方々がいらっしゃれば町としてもしっかりとした対応を取っていただいて協力していただければと思います。あとはですね、以前にもお聞きはしているんですが、免許返納などを経て交通弱者になっていかれる方々がこれからどんどん増えていくと思われますので、スーパーも町内に 1 か所しかありません。そこでしか食料品買えないので、そういった部分でも買い物だけではなく交通弱者になっていく方々への支援、それを難しい課題だと思うんですが確実に進めていただけるように期待しまして私の一般質問を終わります。

●議長（佐藤武雄） 以上で片野良之議員の一般質問を終わります。この際、昼食のため午後 1 時まで休憩いたします。

（終了 午前 11 時 17 分）